

あそしえ 通信

VOL.27

平成 29 年 11 月 1 日 発行

社会福祉法人あそしえ

法人事務局 浜松市南区金折町 804-1 TEL053-545-9754 FAX053-545-9764

相談支援室ゆい " TEL・FAX053-545-9764

生活介護事業所えくらん

浜松市南区金折町 807-1

TEL053-427-1190 FAX053-427-1200

就労継続支援B型事業所あぐり

浜松市南区金折町 957-2

TEL・FAX053-544-5488

共同生活援助事業所フォーワン・短期入所事業所とも

浜松市南区金折町 804-1

TEL053-545-3741 FAX053-545-3715

児童発達支援事業所ゆりかご

浜松市中区蛸塚二丁目 6-13

TEL053-489-3200 FAX053-489-3216

第 14 回夕涼み会 地域の中で

実行委員 佃 舞

毎年恒例となっております夕涼み会も 14 回を迎えました。一年に一度の大イベントです。

利用者さんはもちろんのこと、地域の皆さまからも「楽しみにしているよ」との温かい言葉を頂き当日を迎えました。催し物ではあそしえ後援会にご協力頂き、チーム・ブレンダの皆様によるフラダンスとコール・アコールの皆様によるコーラスをご披露頂きました。とても素敵な時間となり、来場された方も思わず舞台釘づけになっていました。

普段なかなか話す機会がない方々とも交流することができました。

夕涼み会を通じて「あそしえ」は、利用者さん、ご家族様、そして地域の皆様に支えられているな、と改めて感じました。障がいがある方もない方も、社会の一員として支え合いながら地域の中で暮らしていけたらと思います。皆様との出会いに感謝致します。

たくさんのご参加、ご協力ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。



自ら選んで決めるために・・・クラブ活動の試み

えくらん 施設長 原田 美登里

利用者さんたちに自ら選んで、自ら決める機会を持ってほしい、そう考えて「えくらん」では今期からクラブ活動を始めました。とは言え「自己選択」「自己決定」が簡単に実現できるとも思いません。そこで「選ぶ」ことや「決める」ことに、まず慣れていただくとうと4つのメニューを用意しました。

- ・運動クラブ……………体育館などなるべく施設の外に出て、思い切り体を動かします。
- ・園芸クラブ……………種まきから花を育てます。土や植物に触れ、手をよく使います。
- ・音楽クラブ……………自分の好きなCDを選んで聞いたり、インターネットで音楽を楽しみます。
- ・リラクスクラブ…アロマテラピスト講師をお招きしリンパマッサージを施術してもらいます。

例えばリラクスクラブでは、アロマオイルを何種類かの中からご自分で選んでいただき、そのオイルでマッサージしてもらいます。他の方の施術中にはコーヒー豆をミルで挽き、コーヒーを楽しみます。香りからのリラククス効果はとて大きく、約2時間穏やかに過ごされます。

自ら選び決めたことを行い、喜びを感じていただけたらと思います。



運動クラブ



音楽クラブ



園芸クラブ



リラクスクラブ

ビニールハウスを活用した野菜づくり

あぐり 施設長補佐 池田 祐樹

通年で販売できる野菜を

「あぐり」では、昨年度、みずほ財団から、助成金を頂きビニールハウスを新しくしました。今までは、サツマイモやお米を中心に利用者の方々と作り販売してきましたが、季節限定での販売になってしまう物ばかりでした。通年で作り販売できる野菜を目標にという事で、ビニールハウスを活用して水耕栽培を始めてみる事にしました。

これまでに、トマト・水菜・青梗菜・小松菜・サニーレタス等を作ってきました。利用者の方にも、収穫をし、袋入れの作業を行っていただいています。最初は、未熟な野菜を収穫してしまう場面もありましたが、今では成長したものを見極め収穫が出来るようになってきました。

社内販売から、定期販売へ

まだ、野菜の形が不揃いだったり出荷量が一定でなかったりすることもあり、社内販売から始めていますが、買っていただいた皆様からは「美味しいね。」という声をいただくことがあり、みんなも、とても喜んでます。

今後の目標は、定期的に納品できるように野菜作りを勉強していきたいと思っています。

出荷が出来るようになりましたら、是非、皆さん食べてみてください。



熟した「プチトマト」を選んで収穫します。



チンゲンサイは丁寧に袋詰めします。

新しい遊具で体の発達、個の育ちを

児童発達支援事業所ゆりかご 主任 柴田 明奈

今回、公益信託市川園社会福祉基金様より助成を受け、園庭に新たにブランコと鉄棒を設置することができました。

「ゆりかご」では、現在は2～6歳の子どもたちが利用しています。「ゆりかご」に通っている子たちの中には全身を使って遊ぶ事、体のバランスを取る事、目と手や足を連動して動かす事が苦手な子たちが多くいます。このような身体機能は日常生活に必要な動きにつながっていきます。また、年齢の幅があるため、年齢や発達に応じた遊びを展開させていきたいという思いがありました。

今回設置したブランコは、足をはめて乗るタイプのもので、年齢の小さい子や歩行や立位が不安定な子も安心して乗る事ができます。ブランコは体のバランスを取る力を身につけるために良い運動になります。子どもたちは前後に揺れる感覚を楽しんでいる姿が見られます。

鉄棒は、高さの異なる2連タイプのもので、幅広い年齢の子どもが使えています。鉄棒にはぶら下がる、飛び上がるなどの様々な動きができます。逆上がりの練習をしようしたり、ブタの丸焼きの姿勢でぶら下がったりと遊び始めていました。

幼児期には体を動かす事が大切です。「ゆりかご」での保育の中で、遊びに運動を取り入れて、楽しみながら工夫できるようにしていきたいと思っています。今回の遊具の設置で、さらに子どもの楽しさが広がり、幼児期に必要な体の発達、個の育ちを促す活動ができていくのではないかと期待しています。



虔十公園林（けんじゅうこうえんりん）

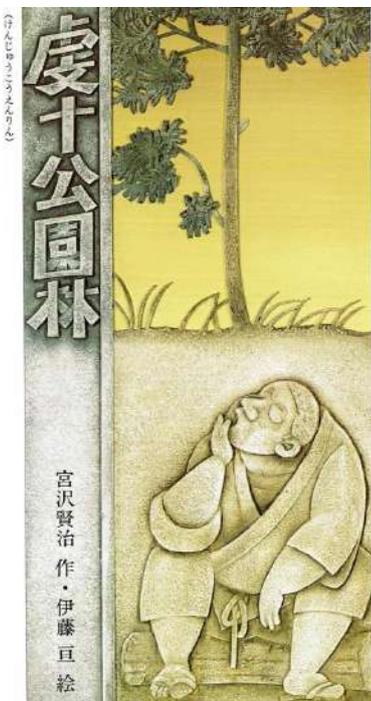
理事長 大場 栄雄

宮沢賢治は私の人生の大きな指標となっています。彼の作品を多くの方が愛していますが、彼の生き方となると評価が大きく分かれます。神格化する人もいますが教員時代を除くと失敗の連続です。法華経徒で、夢想家で、父の生業である質屋を嫌っていたのに本も売れず、親のすねをかじり続け37歳で亡くなりました。近年の言葉で「パラサイト」と呼ぶ人もいます。発達障害ではなかったかと考える人もいます。

しかし「雨ニモ負ケズ」をはじめ様々な作品が今も震災の被災者を励ましてもいます。今回、彼の「虔十公園林（けんじゅうこうえんりん）」偕成社の絵本を紹介させていただきます。

いつも、木や鳥をみてはうれしがっているのが、子供たちからばかにされていた虔十（けんじゅう）が「お母、おらさ杉七百本、買ってける」と言い家族の協力を得て、杉を育てます。虔十はやがてチブスにかかって死に、20年の時が流れ町は発展し変わっていきました。ただ虔十の植えた杉は林となって残り、子供たちが走り回って楽しむ美しい公園となりました。虔十とその思いをくみ取った家族の行いが、人々のかけがえのない場所になったというお話です。「…虔十という人は少し足りない私らは思っていたのです。いつでも、はあはあ笑っている人でした。…だれがかしこく、だれがかしこくないかわかりません…」作中のメッセージが心に響きます。

宮沢賢治のよき理解者であった妹トシも若くして賢治よりも早く24歳で亡くなりました。今わの際に「今度生まれてくるときは自分の事ばかりで苦しまないようにします」と言葉を残します。自分の事でなく、ひとのために働きたい、この童話が伝えたいメッセージと重なります。



平成28年度決算報告（平成29年3月31日現在）

資金収支決算状況

項 目		金額（千円）
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入 7,827
		障害福祉サービス等事業費収入 151,273
		経常経費寄附金収入 1,091
		その他の収入 1,825
		事業活動収入計（1） 162,016
	支出	人件費支出 98,619
		事業費支出 10,521
		事務費支出 15,141
		就労支援事業支出 8,549
		利用者負担軽減額 908
	その他の支出 1,822	
	事業活動支出計（2） 135,560	
	事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2） 26,456	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入 5,716
		設備資金借入金収入 0
		施設整備等収入計（4） 5,716
	支出	設備資金借入金元金償還支出 3,274
		固定資産取得支出 12,773
		ファイナンス・リース債務の返済支出 949
		その他の施設整備等による支出 0
	施設整備等支出計（5） 16,996	
	施設整備等資金収支差額（6）=（4）-（5） ▲ 11,281	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入 80
		その他の活動による収入 0
		その他の活動収入計（7） 80
	支出	積立資産支出 30,131
		その他の活動支出計（8） 30,131
		その他の活動資金収支差額（9）=（7）-（8） ▲ 30,051
	予備費（10） 0	
	当期資金収支差額合計（11）=（3）+（6）+（9）-（10） ▲ 14,876	
	前期末支払資金残高（12） 70,862	
	当期末支払資金残高（13）=（11）+（12） 55,986	

事業活動収支状況

項 目	金額（千円）
（1）サービス活動増減差額	18,748
①サービス活動収益	160,191
②サービス活動費用	141,443
減価償却費	14,370
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 8,305
その他サービス活動費用	135,378
（2）サービス活動外増減差額	▲ 37
①サービス活動外収益	1,824
②サービス活動外費用	1,861
（3）特別増減差額	755
①特別収益	7,998
②特別費用	7,243
当期活動増減差額	19,466
前期繰越活動増減差額	149,393
当期末繰越活動増減差額	168,859
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	29,800
次期繰越活動増減差額	139,059

貸借対照表

項 目	金額（千円）
（1）資産の部	398,666
①流動資産	70,538
②固定資産	328,128
（2）負債の部	58,822
①流動負債	31,038
②固定負債	27,784
（3）純資産の部	339,844
減価償却累計額	130,375

* 端数処理の関係で合計が一致しないこともあります。

積立金状況

貸借対照表上の積立金の勘定科目	積立目的	金額（千円）
経常経費・修繕積立	人件費・事業費・事務費、修繕費に対する積立	39,852
施設整備積立	新規施設事業設備に対する積立	21,502
生産活動積立	就労施設の備品購入、修繕費に対する積立	331

ありがとうございました

（平成29年4月～10月・順不同、敬称略。匿名を希望される方はお申し出下さい。）

ボランティア

田島昭次 犬居和賀代 庄古明美 鈴木恭子 野島好 藤原正典 池谷征也 久保和輝 土井優希
 中田春香 石樽太一 菅真里央 瀧本光咲 越川秀司 越川響 藤本成利華 愛甲乃恵 松井のり子
 サイトウナオミ 匂坂有希 三村紗奈 伊藤和男 山本長行 古川雅康 山口勝義 加藤健司
 大杉徳郎 大杉良枝 神谷正行 大場雅子 鈴木幸子 梅澤堯宏

ご寄付（平成29年3月～10月）

上堀嘉昭 平岡直子 あそしえ後援会 あそしえ家族会
 イオンリテール(株)、マックスバリュ東海(株)（ギフトカード） 市川園社会福祉基金（遊具助成金）
 東部部中学校（エコキャップ） 本田技研労働組合浜松支部（刈払機） 一条工務店（銅線）

アルミ缶ご協力……平成28年度は約1,636kg 113,930円のアルミ缶が集まりました。

鴨江町凧揚会 西伊場八日会 嶋田初江 伊藤忠税理士事務所 池田理容店 北矢雅勇 栗野光司
 フルサワ 至誠堂眼鏡店 袴田智恵美 赤地貞子琉球民謡研究所 (株)中村組 ナカムラ道路(株)
 長澤敬子 河合秀敏 山田清美 どんぐり保育園 刑部広江 小池富子 宮本恵子
 地域の皆さまにご協力いただいております。（利用者家族からの寄付は割愛させて頂きました）



苦情ご要望対応

平成 28 年度は 5 件の苦情 58 件のご要望を頂きました。今後も真摯に対応していきたいと思ひます。

内 容	事 実 確 認 及 び 対 応
保護者から第三者委員に、支援内容について苦情の申し立てがあった。 法人の支援姿勢など対応に不満がある。対応が一方的で納得がいけないとの内容である。	状況を必要な都度お伝えしたつもりであったが、認識の相違があった。記録などに関しては不十分であった。 第三者委員立会いの話し合いを 4 回行い、最終的にご了解いただき解決となった。同時に施設の利用を止めて退所された。
(施設外就労において発注先から) 外部の方が(作業の見学などで)出入りしているの、しっかり挨拶してほしい。	利用者 3 名、職員 1 名で外部の会社に 2 時間程度の作業に行っている。到着して入る時の挨拶の習慣は、身につけている方が多い。作業途中では挨拶できていなかった。 職員間で要望が出た状況の確認をし、施設の朝礼で挨拶をするように説明した。作業中も職員が率先して挨拶し、利用者に声掛けするようにする。
(ご近隣の方から) 送迎の際に保護者の車が路上駐車して乗り降りする。必要以上に場所をとらないようにしてほしい。	施設の前の道は狭いため、送迎時は一方から通行とし、乗り降りは施設の駐車場としていた。しかし、路上停車する方もいて、職員も黙認していた。 施設の駐車場で乗り降りすることを徹底する。路上駐車される方には口頭で伝え、利用者に配布する毎月の通信にその旨を記載した。
(保護者より電話にて) 昨日、子供の迎えの際に、他の児童に手を噛まれたと説明を受けたが、本人が泣いていたため、詳しく聞けなかった。その時の状況と、普段のその児童とのやり取りの様子を教えてください。 子供同士のことと理解している。普段から玩具の取り合いがあるので、自分の子供はどうしているか教えてください。	帰りの自由遊び時に玩具の取り合いになり、片方が相手の手の甲を噛んだ。その際、噛まれた手を職員が引いたため傷になった。保護者の迎え時に謝罪と説明をしたが、十分に伝わらなかった。電話を頂いて説明と謝罪をした。その時の状況と普段の遊びでの様子や二人の関係を伝えた。また、噛んだ児童の保護者にも同内容を伝えた。 職員の対応を再確認した。今回のような場合手を引かないことを共通認識とした。また、そうした状況になる前に対応する必要性を確認した。
(平成 27 年 2 月に保護者から) 自分でバスを利用して通所している。バスを降りると道路を横断するが、横断歩道が離れた所にある。そこまで登り坂で歩道もなく不安を感じる。近い場所に横断歩道があれば良いと思う。	横断歩道はバス停から 120m 離れた所にある。バス通所する利用者には歩行の不自由な方もいる。 利用者の協力を得て、通所の様子の写真を添え、横断歩道新設の要望を施設所在の自治会に出させてもらった。自治会から行政に要望が届き、平成 29 年 3 月にバス停から 50m の所に横断歩道が新設された。



後援会ご入会・ご継続 (平成 29 年 4 月～10 月・順不同、敬称略。匿名を希望される方はお申し出下さい。)

大橋定夫 石樽太一 角田幸一 神谷博江・健太 (有)コスモグリーン庭好 齋藤弓子 盛岡茂子 池谷直子
伊東美幸 大石邦子 竹内公一・三紀子 美和勇一郎 吉野いづみ 河合美恵子 杉浦直人 鈴木朝子
日内地孝夫 公共土地(有) 鈴木聡一郎 山下純乃 (有)ティ・エム・プランニング 宮崎啓太 鈴木義隆
(株)アズ・フレックス (株)トレードトラスト 花崎佳子 松尾志津子 (有)マツオ工機 宮澤女久美 望月隆明
天野正彦 加藤五十鈴 加藤きえ 鈴木啓一税理士事務所 高林久仁夫 本蓮寺・梅澤堯宏 鏡和子
工藤かの子 越川秀司 KONOIKE Co.(株) (株)中村組 松本健彦 鈴木幹則 嶋泰子 影山忠弘 小田史子
高部千奈美 阿部秀雄 阿部昌弘 新井淑恵 安間みち子 飯田明男 宇都晴美 (有)大貫 小桐正彦
加茂福史 酒井裕之 鈴木利幸 鈴木俊昭 高橋和良 中島千春 西川公一郎 古川雅康 山口勝義
山本長行 木村満雄 内田賢一 山本雅一 嶋田初江 池田佳世 中村穎子 影山香織 岩澤秀治
竹内宏幸・恵子 深田吉治 佐々木成明 白尾恂 鈴木克子 ほか匿名希望 2 名

あそしえ後援会

「あそしえ」への財政的協力、支援活動
「あそしえ」の情報提供
会員相互の交流 その他



ご支援ご協力お願い致します。

年会費 個人会員 一口 1,000 円
法人会員 一口 10,000 円
郵便振替 00890-0-100480 あそしえ後援会



障がい者が当たり前に働ける地域を目指して

特定非営利活動法人 地域生活応援団あくしす

お好み焼き こなこな 生活支援員 堀米 美紀

「えっ！福祉施設なの？」

中区早出町にある「お好み焼き こなこな」は開店から7年目を迎える、地元密着型の飲食店です！一見、普通のおしゃれなお好み焼き屋さんですが、「お好み焼き こなこな」は飲食店であると同時に、就労継続支援A型事業所の顔を併せ持っており、障がいのある方の就労をサポートしています。

「えっ！福祉施設なの？」と驚かれることもあります。就労継続支援A型事業所とは、「働く」という実際の体験を通して、一般企業への就労に必要な知識や技術を身に付けていく場でもあります。福祉施設としての“利用契約”と同時に“雇用契約”も結ぶことが特徴です。お金を稼ぎながら、実践で訓練を受けられるところが、就労継続支援A型の強みでもあります。

障がいがあっても、スタッフ一人一人が、将来への夢をもって働ける場を提供することが「お好み焼き こなこな」の使命です。

「あそしえ」さんから「こなこな」へ

そんな「こなこな」には「あそしえ」さんの卒業生が働かれています。その方は今でも「相談支援室ゆい」さんを利用され、私生活面のサポートを受けながら、こなこなで活躍しています。

彼女は主にホールでの接客を担当しており、来店のご案内からオーダー取りや料理提供など、正に店の看板娘として、常連のお客様からもとても人気があります！接客業という仕事を通し、働くための知識や技術を身に付けながら、一般就労を目指して頑張っています。「あそしえ」さんを卒業してからも、多くの方にサポートして頂ける関係性は彼女にとっても大きな支えになっており、その支えがあるからこそ、日々の仕事が安定していると感じられます。



味よし、人よし、格好よし

そして毎年「あそしえ」さんで行われている「夕涼み会」では、こなこな自慢のお好み焼きを出張販売させて頂いており、「あそしえ」さんの利用者の方々を始めとした地域の方々にはいつもご最厚にさせていただいています。

鉄板を持参し、その場で調理したできたてのお好み焼きは毎年好評を博しています。「美味しい！」というその言葉が、こなこなスタッフの活力や、やりがいに繋がっており、その言葉を聞くためにスタッフ一人ひとりが日々努力しているといっても過言ではありません。

今後も「味よし、人よし、格好よし」そんな三拍子がそろった店を目指し、スタッフ一丸となって成長していきたいと思えます。ハンディキャップがあっても、当たり前で働いているスタッフの頑張りを見に、「お好み焼き こなこな」にぜひ一度ご来店ください！



11月19日(日)11:20頃～ 浜松駅前ソラモ でパフォーマンス！

浜松駅前、遠鉄百貨店新館・本館間「ギャラリーモール ソラモ」で

「えくらん」「あぐり」の利用者さんがパフォーマンスします。ぜひ、お越しください♪

*出演時間は変更になる場合があります。ブログ「あそしえいろいろ」をご覧ください。